

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社 本郷工場

(2) 事業所の所在地

〒729-0414 広島県三原市下北方1丁目3番1号

(3) 業種

清涼飲料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21（2009）年度を基準年度とし、
平成23（2011）年度から平成25（2013）年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：t/千cs （t：CO₂排出量、千cs：製品ケース数）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成21年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成25年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成22年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	1.128	1.066 5.4	1.284 ▲13.8	1.306 ▲15.8			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	1.128	1.066 5.4	1.284 ▲13.8	1.306 ▲15.8			
エネルギー消費 原単位（原油換 算kl）	0.520		0.547 ▲5.2	0.546 ▲4.9			
実績に対する 自己評価	品種構成の多様化で殺菌製品の増加と多品種小ロット生産で非生産時間増加に伴うエネルギー使用量の増加、さらにエネルギー消費が大きい無菌生産設備の製造工程での使用量が増加した為、CO ₂ 排出量が増加している。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	蛍光灯照明設備のLED化	6.8k1/年 (エネルギー使用量合理化)	事務所内蛍光灯をLED照明に改修
2	空気圧縮機台数制御装置	18k1/年 (エネルギー使用量合理化)	空気圧縮機(100kw×3)を負荷に応じて運転台数を管理 空気圧縮機(55kw×1)を新規追加し、総合運転電力の削減(300kw→250kw)
3	エネルギーの見える化	不明	エネルギー監視装置により、エネルギー使用量と原単位を即時把握可能とする。
4	コージェネ設備の燃料転換	2,855k1/年	平成27年を目標に検討する

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	CIP水すすぎ時間見直し(削減)		すすぎ工程を見直すことで、温水時間の短縮(蒸気使用量削減)となる
2	メタルハライド(水銀灯)のLVD化(検討中)	現状の60~80%使用電力削減	現場(作業場・倉庫)や屋外の照明設備をLVD(検討中)化する

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。